



2026年4月16日

各 位

会 社 名 大栄環境株式会社  
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 金子 文雄  
(コード番号：9336 東証プライム市場)  
問 合 せ 先 副社長執行役員 下田 守彦  
(TEL. 078-857-6600)

## プラスチック再資源化施設の稼働開始に関するお知らせ

当社連結子会社のDINS関西株式会社は、プラスチック資源循環の高度化を目的として、プラスチックの高度選別施設及びRPF\*1製造施設の稼働を開始しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 概要

当社グループは、廃棄物の収集運搬から中間処理・再資源化及び最終処分に至るまでのワンストップサービスを提供するとともに、土壌浄化や施設建設・運営管理等、環境創造に係るバリューチェーンを幅広く展開し、脱炭素や循環経済への転換に向けた世界的風潮の中で、5つの重要課題を特定し、これらの課題解決に向けて、社会インフラを担う企業として社会的価値及び当社グループの価値の最大化を推進しております。

当社連結子会社のDINS関西株式会社は、大阪府堺市西区に位置し、サーマル及びマテリアルリサイクルをはじめとする総合的なリサイクルシステムを有しております。今回稼働を開始しましたプラスチック高度選別施設及びRPF製造施設は、多くの自治体や民間事業者が課題とする廃プラスチックの資源循環に貢献するとともに、隣接する当社連結子会社の株式会社プラファクトリーと連携して、廃プラスチックの効率的・合理的な原料化・再商品化を実施することで、プラスチックの資源循環及び脱炭素社会の実現に繋がるものと考えております。

当社グループは、今後も資源循環システムの構築に資する取組みを推進し、持続可能な循環型社会の形成に貢献するとともに、新しい価値を創出する環境創造企業としてさらなる事業成長を図ってまいります。

\*1：「Refuse derived paper and plastics densified Fuel」の略称で、廃プラスチックを主原料に、化石燃料の代替となる固形燃料。

## 2. 施設概要

### (1) プラスチック高度選別施設

施設名称	プラスチック高度選別施設
施設の種類	ごみ処理施設（破砕・選別・圧縮・固化施設）
処理する廃棄物の種類	① 一般廃棄物 容器包装プラスチック、製品プラスチックなどの廃プラスチック類 ※ 石綿含有一般廃棄物、水銀使用製品一般廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含まない。
所在地	大阪府堺市西区築港新町3丁54番1の一部
処理能力	72 t / 日（24時間）

### (2) RPF製造施設

施設名称	RPF製造施設
施設の種類	破砕・圧縮固化施設
処理する廃棄物の種類	① 一般廃棄物 容器包装プラスチック残渣、製品プラスチック残渣などの廃プラスチック類、紙くず、木くず ※ 石綿含有一般廃棄物、水銀使用製品一般廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含まない。 ② 産業廃棄物 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず ※ 石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を除く。
所在地	大阪府堺市西区築港新町3丁54番1の一部
処理能力	197.76 t / 日（24時間）

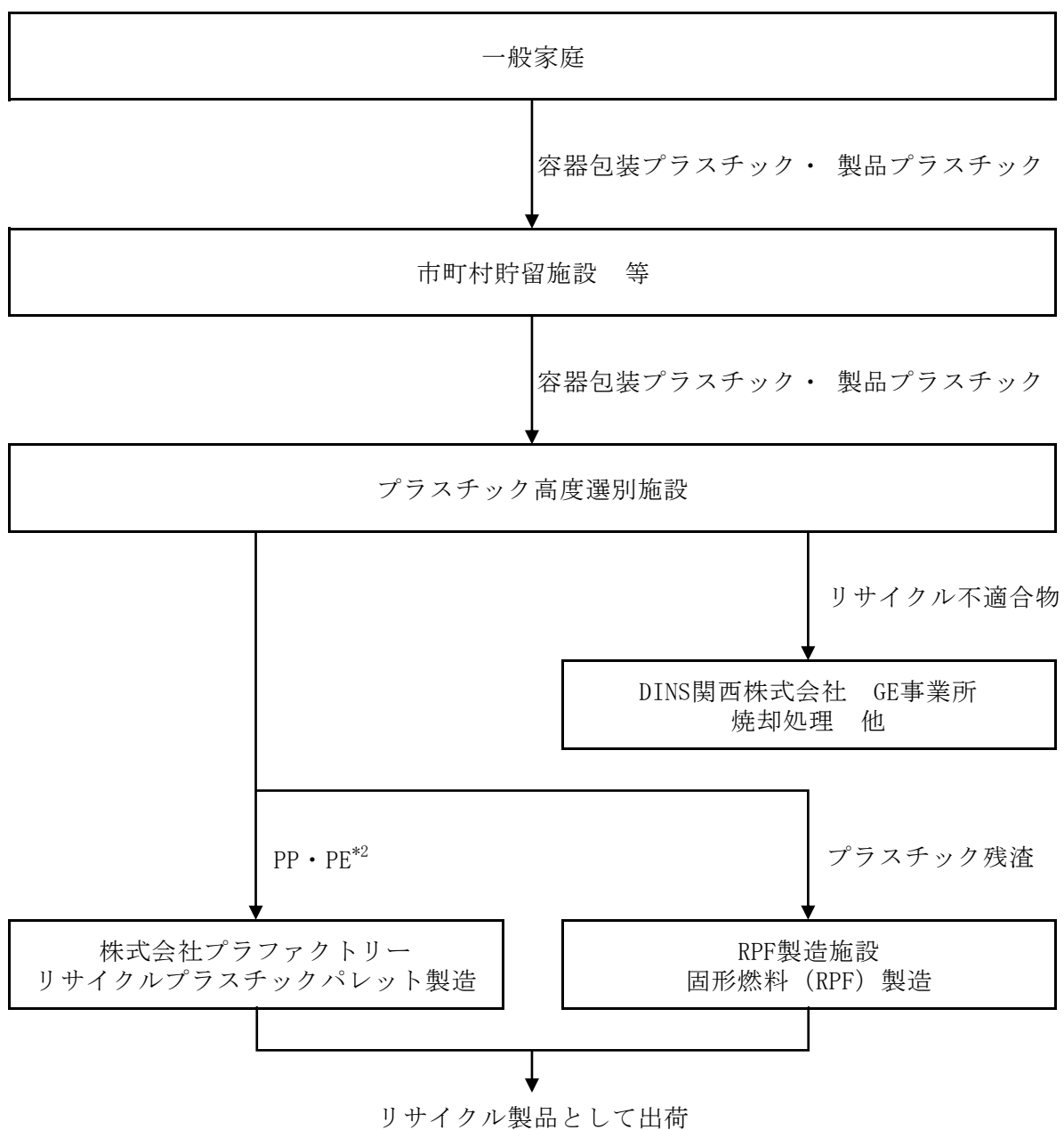


プラスチック高度選別施設



RPF製造施設

### 3. 処理フロー図



\*2: 「PP」ポリプロピレン、「PE」ポリエチレン

### 4. 今後の見通し

本件による当社連結業績への影響は軽微であります。今後開示すべき事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

以上